

平成26年 年頭所感

麻生太郎です。新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはそれぞれ思い思いの穏やかな正月を迎えられていることと存じます。一昨年12月26日の第2次安倍政権発足から1年余りが経過致しました。この間、昨年6月の東京都議会選挙で自民党公認候補の全員当選に続き、同じく7月の参議院選挙では皆様の熱いご支援を賜り、自民党が圧勝しました。おかげさまをもちまして6年ぶりに安定政権が実現することと相成りました。まずもって皆様に心より感謝申し上げる次第です。

安倍政権発足に伴い、副総理、財務大臣兼金融担当大臣を拝命し、デフレ不況からの脱却と日本経済再生を目指す「アベノミクス」実現に向け①大胆な金融政策②機動的な財政出動③民間投資を喚起する成長戦略一を第1、2、3本の矢として打ち込んでまいりました。株価の水準は8千円台から上昇し1万5千円を超え、為替ルートも一定の水準で安定的な動きを見せており、経済は回復基調にあります。今年はその流れをさらに全国津々浦々まで行き渡らせ、雇用拡大や賃金の上昇など国民の皆様の生活が良くなり、明るく、元気になる年にしたいと決意を新たにしております。

世界を見渡せば、日本を取り巻く安全保障環境は大きく変化しています。エネルギーや環太平洋連携協定(TPP)といった経済分野も含めて日米同盟に基づく安全保障体制の強固な基盤づくりにも邁進していく所存です。

有権者の皆さんが「決められない政治」から「決められる政治」を望んでいたのは間違いありません。だからこそ国政選挙でも「ねじれ」解消を求める選択をされたと考えております。すべてを社会保障目的に充てる消費税増税や、来春に控える統一地方選における候補者選定が佳境を迎えます。2020年夏季東京五輪を見据えた取り組みも活発になってくるでしょう。チャレンジする気構えを忘れず、一つ一つ丁寧に決断する政治を実践し、日本、そして安定政権のさらなる飛躍の年にしたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。